

平成23年 8月 2日  
四国地方整備局

## 入札監視委員会の審議概要について

四国地方整備局入札監視委員会の平成23年度総会及び第一部会(第1回定例会議)を下記のとおり開催しました。

総会では委員長の選任と委員長代理の指名及び各委員の部会所属の指名が行われました。(別添名簿のとおり) その後、第一部会の定例会議が開催されました。審議内容は、四国地方整備局(港湾空港関係は除く)が平成23年1月から平成23年3月までに発注した工事、建設コンサルタント業務等及び役務・物品の中から委員が無作為に抽出した6件の入札・契約手続に関する事項について審議を行いました。その審議概要は別添のとおりです。

### 記

開催日 平成23年 7月21日(木)  
会場 総会 高松サンポート合同庁舎 13階会議室  
第一部会 サンポートホール高松 54会議室

### 問い合わせ先

高松市サンポート3番33号 電話 087-851-8061(代表)  
四国地方整備局入札監視委員会事務局  
主任監査官 南 守 (内線2114)  
契約管理官 渡辺 晴彦 (内線2222)  
技術開発調整官 藤山 究 (内線3120)

四国地方整備局入札監視委員会名簿

委員会役職	氏名	職業	所属部会
委員長 第一部会長	近藤光男 <small>こん どう あき お</small>	徳島大学大学院教授	第一部会
委員長代理 第二部会長	小竹望 <small>こ たけ のぞむ</small>	香川高等専門学校教授	第二部会
委員 第二部会長代理	関谷利裕 <small>せき や とし ひろ</small>	弁護士	第二部会
委員	大西均 <small>おお にし ひとし</small>	公認会計士	第一部会
委員	島弘 <small>しま ひろし</small>	高知工科大学大学院教授	第一部会
委員	白井一郎 <small>しら い いち ろう</small>	弁護士	第一部会
委員	三野靖 <small>み の やすし</small>	香川大学教授	第一部会
委員	山田伊知郎 <small>やまだ い ちろう</small>	香川大学大学院准教授	第二部会

(委員は50音順:敬称略)

(注)第一部会は、港湾空港関係を除くものについて審議する。

第二部会は、港湾空港関係に係るものについて審議する。

別添

四国地方整備局 入札監視委員会第一部会第1回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成23年7月21日(木) サンポートホール高松 54会議室					
委員(部会委員5名)	部会長 近藤 光男(徳島大学大学院教授) 委員 大西 均(公認会計士) 委員 島 弘(高知工科大学大学院教授) [欠席] 委員 白井 一郎(弁護士) 委員 三野 靖(香川大学教授)					敬称略 委員は50音別
審議対象期間	平成23年1月1日～平成23年3月31日契約分					
審議案件	総件数 6件(工事3件、建設コンサルタント業務等2件、役務及び物品1件)					
	入札方式	件名	契約の相手方	契約金額(千円)	入札者数	落札率(%)
工 事	一般競争(政府調達協定適用対象工事)	平成22-24年度 新仁淀川大橋上部第1工事	(株)横河ブリッジ	697,200	18	88.73
	一般競争(政府調達協定適用対象工事以外)	平成22-23年度 山陰谷川樋門新設工事	(株)北岡組	63,735	4	89.29
		平成22-23年度 三坂第1トンネル換気設備工事	(株)日立プラントテクノロジー	200,235	4	89.40
建設コンサルタント業務等	一般競争	平成22年度 土佐工事積算技術(その2)業務委託	(社)四国建設弘済会	31,500	1	97.50
	簡易公募型競争	平成22-23年度 飯野箇所測量設計業務委託	(株)建設技術研究所	14,175	12	78.49
役 務 及び物品	一般競争	平成22年度 TV会議装置購入	都築電気(株)	11,949	1	98.1
○部会開催にあたり第一部会長に 近藤 光男委員長を選任した。						
報告事項	①談合情報等の対応状況 ①再度入札における一位不動状況・低入札の発生状況 ②指名停止状況					
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
備 考						

別紙 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1. 抽出案件の審議概要

(1)一般競争入札(政府調達協定対象工事)	
意見・質問	回答
<p>平成22-24年度 新仁淀川大橋上部第1工事</p> <p>特になし</p>	
(2)一般競争入札(政府調達協定対象工事以外)	
意見・質問	回答
<p>平成22-23年度 山陰谷川樋門新設工事</p> <p>一般競争参加資格における地域設定を徳島県内の吉野川沿川市町村に営業拠点(本店)を有することとした理由は。</p> <p>競争に参加出来る者の数を見ながら地域を設定しているのか。</p> <p>競争参加者数が4者しかない理由は。</p> <p>企業評価に「災害時の事業継続力の評価」とあるが、この意味は。</p> <p>工事内容、リスク等に応じて工事毎にBCPの評価点に違いがあっても良いのではないかと。また、BCPの評価点はもっと高くても良いのではないかと。</p> <p>平成22-23年度 三坂第1トンネル換気設備工事</p> <p>特になし。</p>	<p>吉野川における河川工事は、地域性・競争性等を考慮し、通常上流域と下流域に別けて地域設定を行っている。しかし本工事における同種工事の実績を満たす者が上流域においては少数であることから、競争性を担保するため吉野川沿川の市町村とした。</p> <p>そのとおりである。</p> <p>明確な理由は不明であるが、工事内容、地域的若しくは年度末発注の工事であり技術者の確保が難しかったのではないかと。</p> <p>BCP(事業継続計画)は、企業が平時から災害時等における事業継続のための手法・手段等を取り決めておく計画のことであり、四国建設業BCP等審査会が認定した企業を評価の対象としている。</p> <p>四国建設業BCP等審査会の認定を受けていることに対する一律の評価である。評価点の見直しについては、意見として承っておく。</p>

(3) 一般競争(建設コンサルタント業務等)	
意見・質問	回答
<p><b>平成22年度 土佐工事積算技術(その2)業務委託</b></p> <p>随意契約の見直しにより現在の入札方法に移行していったが、落札率の変化を知りたいが資料はあるか。</p> <p>1者しか応募がなかったが理由はなにか。他の者では難しい業務であるのか。また、業者としては経営上魅力が無いのか。</p> <p>他の整備局でも同様の傾向か。</p> <p>再委託はあるのか。</p>	<p>手持ち資料がないので後日報告する。</p> <p>理由等は不明である。競争参加要件を緩和しており、参加条件を満たす者は270者程度見込んでいた。</p> <p>同様の傾向である。</p> <p>再委託はしていない。</p>
(4) 簡易公募型競争(建設コンサルタント業務等)	
意見・質問	回答
<p><b>平成22-23年度飯野箇所測量設計業務委託</b></p> <p>多くの者の入札価格が調査基準価格付近にあるが、なぜか。また 調査基準価格の設定方法を教えてください。</p> <p>技術点と価格点の比率が1:1であるが、価格点の比率が高くて良いのではないか。</p>	<p>明確な理由は不明であるが、一般的な業務であり人件費等の単価を業者は承知しており、予定価格に対して相当高い精度で積算していると思われる。調査基準価格の算定方法は本業務の発注時点においては次のとおりである。(直接人件費の額+直接経費の額+技術経費の額に10分の6を乗じて得た額+諸経費の額に10分の6を乗じて得た額)</p> <p>本業務は一般的に実施されているものであるもので比率を1:1としている。高度な技術を要する業務の場合は、技術点の比率を高くしている。</p>
(5) 一般競争(役務・物品)	
意見・質問	回答
<p><b>平成22年度TV会議装置購入</b></p> <p>本装置の耐用年数は。またメンテナンスはどうするのか。</p>	<p>耐用年数は7~8年と考えている。機器を使用しながら動作確認はできるため、メンテナンスを別途発注する必要はない。</p>

<p>2者応募し1者辞退してるが、参加資格を有する業者は何社あるのか</p> <p>購入に際して仕様書は誰が作成しているのか。仕様書の中身が参加しづらいものになっているのではないか。</p>	<p>参加資格を満たす者は5者以上と想定していた。</p> <p>仕様書は当局職員で作成しているが、各業者の仕様を調査し、いずれの仕様でも参加できる仕様書としており、参加しづらいものにはなっていない。</p>
---	--

## 2. 談合情報等に係る対応状況について

意見・質問	回答
<p>入札から排除する判断基準は。</p> <p>入札心得において、入札から排除された者は、異議を申し立て出来ない様になっているが、排除された者から何か言ってきたことはないのか。</p> <p>排除された者に疑念を持たれないようにしてもらいたい。</p>	<p>案件ごとに総合的に判断している。</p> <p>異議の申立の例はない。入札に先立ち、入札心得にて周知を行っており、排除された者は、異議申し立ては出来ないことを承知していた。</p> <p>疑念をもたれないように行いたい。</p>

## 3. 再度入札における一位不動状況（「価格が最低である業者が、当初入札時と同一となる案件」の発生状況）、低入札の発生状況について

意見・質問	回答
<p>低入札の発生件数が激減してのは何故か。</p>	<p>施工体制確認型を導入してから、低入札調査対象工事は少なくなっている。</p>

## 4. 指名停止状況について

意見・質問	回答
<p>特になし</p>	

5. 全体について及びまとめ

意見・質問	回答
特になし	